



When you need **to be sure**

サステナビリティ関連サービス



When you need **to be sure**

SGS は、検査・検証・試験・認証におけるリーディングカンパニーです。

SGS では、幅広い業界に精通したエキスパートが、日々多様なサステナビリティ関連サービスを提供しています。

私たちは、貴社がサステナブルな事業モデルを構築し、持続可能な未来に向けた目標を達成できるよう、

信頼されるパートナーとしてサポートを行っています。

気候変動や資源の枯渇といったさまざまなリスクや課題に対して、貴社が的確に対応できるよう、専門的な知見と実績に基づいた支援を提供します。

CORPORATE PROFILE

社名	:	SGS ジャパン株式会社
英文社名	:	SGS Japan Inc.
設立	:	1987 年（昭和 62 年）6 月 23 日
本社所在地	:	神奈川県横浜市保土ケ谷区神戸町 134 番地 横浜ビジネスパークノーススクエア I
資本金	:	1 億円
代表者	:	代表取締役 顔 立新
事業内容	:	各種検査、検証、試験、認証業務

CONTACT US



サステナビリティ
サービス



sgsjapan-portal.jp

サステナビリティはもはや選択肢ではなく、企業価値を高める戦略的な要素となっています。

世界の企業は今、気候変動・資源循環・自然環境保護・ESG 情報開示といった多面的な課題への対応を迫られています。

これらは社会的要求にとどまらず、国際規制や市場選別によって企業の存続と成長に直結する条件となりつつあります。

脱炭素社会の実現に向けた製品カーボンフットプリント（CFP）算定や GHG（温室効果ガス）排出量の開示、再生材利用やデジタルプロダクトパスポートの導入、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）や EUDR（欧州森林破壊防止規則）といった自然資本保護の国際枠組み、さらに欧州 CSRD（企業サステナビリティ報告指令）や国内 SSBJ（サステナビリティ基準委員会）をはじめとする透明性の高い情報開示規制が急速に拡大しています。

このような背景のもと、規制未対応の企業は市場排除や取引停止、ブランド毀損といったリスクが高まり、一方でライフサイクルアセスメント（LCA）や環境製品宣言（EPD）認証、リサイクル材活用、自然資本リスク管理、ESG 情報の第三者検証・保証などは、新たな競争優位性をもたらす機会となっています。加えて、企業は自らのマテリアリティ（重要課題）を的確に特定し、社会的要請と自社戦略を結びつけることが不可欠です。

SGS は、**気候変動**、**サーキュラー（資源循環）**、**ネイチャー（自然保護）**、**ESG アシュアランス**という 4 つの領域において、企業価値と市場競争力の向上を支援する多様なサービスを提供しています。

気候変動

- ・GHG 検証
- ・LCA 算定アドバイザー
- ・CFP 検証
- ・EPD 検証
- ・CBAM（炭素国境調整措置）規則への対応支援
- ・削減貢献量の検証

サーキュラー

- ・GRS 認証／RCS 認証
- ・ISCC PLUS 認証
- ・アルミニウム管理イニシアチブ（ASI）認証
- ・ISO14021 検証
- ・ELV（廃自動車）規則への対応支援
- ・海外調査サービス（法令・規制など）

ネイチャー

- ・管理化学物質分析
- ・SGS 製品認証マーク
- ・食品接触材料試験
- ・環境試験（PFAS）
- ・森林認証
- ・RSPO 認証
- ・EUDR（欧州森林破壊防止規則）への対応支援

ESG アシュアランス

- ・サステナビリティ情報の検証
- ・人権デューデリジェンスへの対応支援
- ・ソーシャル監査（企業の社会的責任監査）
- ・EDGE 認証
- ・PPWR（包装および包装廃棄物規則）への対応支援
- ・EU バッテリー規則への対応支援
- ・環境・労働安全・情報セキュリティマネジメント

IMPACT NOW

for sustainability

気候変動



GHG 検証

SGS は、GHG 排出量の報告に関する義務的および自主的なニーズの高まりに合わせ、算定報告された GHG 排出量について、完全性、一貫性、透明性、正確性があることを、検証を通して意見表明、保証します。

検証基準は、ISO14064-3（GHG 算定の妥当性確認・第三者検証に関する基準）や ISAE3000（過去財務情報の監査及びレビュー業務以外の保証業務における一般的な要求事項及び適用指針のみを定めた包括的な基準）など、企業のニーズに合わせて対応しています。

また、国内における GX リーグ登録検証機関として、GX-ETS（排出量取引制度）における検証サービスも提供しています。

GX リーグへの対応を通じて、企業の GHG 排出量算定・報告の信頼性を高め、GX 投資や ESG 評価向上や企業の脱炭素戦略、国際競争力の強化に向けた活動を支援します。



LCA 算定への対応支援

企業のサステナビリティ情報公開の一環で、企業全体や事業所単位での環境負荷情報に加えて、自社製品に対するライフサイクルアセスメント（LCA）を通じた製品単位での環境負荷情報の公開が必要となる機会が増えてきました。

また、EU 域内で販売される製品については、製品単位でカーボンフットプリント（CFP）の算定結果の報告が要求される規制の施行や規制案の制定が進められています。

SGS は、貴社製品・算定目的・適用する運用ルールに基づいた CFP 算定支援サービスを提供しています。

また、環境製品宣言（EPD）で要求される CFP 以外の項目（GHG 排出量、水資源消費量など）の算定にも対応可能です。

CFP 検証

カーボンフットプリント（CFP）検証は、国際規格である ISO14067 に基づき、製品のライフサイクル全体における温室効果ガス排出量を定量化し、第三者がその算定結果の信頼性と透明性を評価します。環境情報の整合性が向上し、企業の脱炭素経営や ESG 対応、ブランド価値の向上に貢献、サプライチェーン全体の排出管理および削減活動にも活用することができます。

SGS は、ISO14067 に準拠した CFP 検証サービスを提供しており、製品のライフサイクル全体にわたる温室効果ガス排出量の算定結果について、第三者としての信頼性と透明性を担保します。



EPD 検証

近年では、脱炭素・サステナビリティ志向の強まりと、企業や公共調達における環境透明性の要求が出てきています。

環境製品宣言（EPD）は、グリーン建築認証（LEED・BREEAM など）の取得要件や公共調達基準（Buy Clean、EPEAT など）で評価加点要素になっており、企業は製品のライフサイクル（LCA）影響を定量化して示す必要があります。

スウェーデンの国際 EPD システムが運営する環境製品宣言（EPD）認証プログラムの EPD International は、ISO14025 など国際規格に基づいて製品のライフサイクル環境影響を透明に表示する仕組みとなり、第三者検証に合格した製品環境情報として公開することができます。

建材や機械など幅広い分野で用いられ、欧州を中心に国際的に相互承認されている点が特徴です。

SGS は、ISO14025 に準拠した EPD の第三者検証をグローバルに展開しており、欧州を中心とした国際的な相互認証にも対応可能です。



CBAM（炭素国境調整措置）規則への対応支援

CBAM（炭素国境調整措置、Carbon Border Adjustment Mechanism）とは、2021 年 7 月に発表された気候変動対策「Fit for 55」の一環として、EU 域外から EU 域内への輸入品に対して「CO₂ 排出量に応じたコスト」を課す仕組みです。

SGS は、CBAM についての基本知識や規則の理解を深めるための研修、排出量算定の支援、輸入事業者向けの報告書作成支援サービスなどを提供しています。

削減貢献量の検証

気候変動対策の中核であるサプライチェーン全体の脱炭素化において、企業は自社の直接排出（Scope1・2）に加え、取引先や顧客に提供する製品・技術を通じた排出削減への貢献を定量的に示すことが求められています。

「削減貢献量」とは、ある製品・サービス・プロセスの導入によって、他者または市場全体で回避された温室効果ガス（GHG）排出量を指します（Avoided Emissions）。

SGS の削減貢献量評価サービスは、ISO14064、ISO14067 および GHG プロトコルの原則に基づき、製品やプロセス改善による削減貢献量を科学的手法で算定し、第三者として検証します。算定結果は CSRD・TCFD 等の開示報告やカーボンニュートリティ主張の根拠として活用可能です。

また、LCA データやバリューチェーン情報を組み合わせ、透明性の高い Scope3 削減ストーリーの構築など、これから取り組まれる企業を包括的に支援します。

IMPACT NOW

for sustainability

サーキュラー



GRS/RCS 認証

GRS 認証は、リサイクル素材が使用された製品の信頼性を保証する国際的な自主認証基準です。

SGS 中国は、Textile Exchange がスキームオーナーである国際的なリサイクル認証の GRS（Global Recycled Standard）認証及び RCS（Recycled Claim Standard）認証において、独立した第三者認証機関（CB）として承認されています。

SGS ジャパンは、このグローバルスコープに含まれることで、日本国内においても国際的な基準に基づき包括的な認証サービスを提供しています。

ISCC PLUS 認証

ISCC PLUS 認証は、バイオマスやリサイクル原料を活用した製品に対し、サステナビリティ・トレーサビリティ・法令遵守の観点から持続可能な管理を証明する国際認証制度です。包装・化学品・燃料業界などで導入が進み、プラスチック資源循環やバイオマス原料の使用促進に貢献しています。帳簿管理によるマスバランス方式や実配合に基づく管理方式（Physical Segregation）など柔軟な Chain of Custody（CoC）モデルに対応します。

企業は、ISCC PLUS 認証を通じて、製品に使用される原料の持続可能性を第三者的に証明でき、顧客や市場への環境配慮の可視化、ブランド価値の向上の一助として活用することが可能です。

航空業界向けの ISCC CORSIA は、SAF の持続可能性と GHG 削減を第三者的に証明し、国際的な気候変動対策に寄与します。

SGS は、ISCC PLUS および ISCC CORSIA 認証取得に向けた体制構築支援、監査対応、トレーサビリティ管理など、企業の持続可能な原料利用を支援する包括的なサービスを提供します。



アルミニウム管理イニシアチブ（ASI）認証

ASI 認証は、アルミニウムの採掘からリサイクルまでのバリューチェーン全体における環境・社会・ESG の責任ある管理を推進する国際認証制度です。軽量素材として自動車・建築・包装分野で需要が拡大する一方、エネルギー多消費産業であるアルミ精錬工程に伴う CO₂ 排出や人権・サプライチェーンリスクへの懸念が高まっています。特に欧州では、低炭素アルミの調達要求や「グリーンアルミ」市場の拡大により、第三者による持続可能性保証が不可欠となっています。

ASI 認証は「パフォーマンス基準」と「Chain of Custody（CoC）基準」の 2 つの主要枠組みを持ち、企業は環境配慮、労働・人権尊重、透明性などの要件を満たすことで認証を取得できます。採掘企業、精錬・圧延メーカーから最終製造企業まで、サプライチェーン全体での認証取得支援、監査、トレーサビリティ確保が提供されており、グローバル市場での信頼性確保や顧客への環境配慮の証明手段として活用されています。

SGS は、ASI 認証取得に向けた監査対応、CoC（Chain of Custody）管理支援など、バリューチェーン全体にわたる包括的なサービスを提供しています。

IMPACT NOW

for sustainability

サーキュラー



ISO14021 検証

ISO14021 は、「環境ラベル及び宣言－自己宣言による環境主張（タイプ II 環境ラベリング）」のための国際規格です。リサイクル材料含有率、省エネルギー、省資源などの項目に対して組織が自ら基準を設け、これを満たすことでラベルを利用することができる基準です。

SGS は、この自己宣言による製品などの環境主張の信頼性を高めることを目的として、組織が定めた基準および環境主張に関するギャップ分析および検証を提供します。

ELV（廃自動車）規則への対応支援

EU では、ELV 指令（2000/53/EC）および型式認証指令（2005/64/EC）を統合した ELV 規則が提案され、法案採択に向けて協議が進められています。ELV 規則案では、Circular Economy Action Plan の一環として、製造から廃車段階に至るまでの循環性をより高めるための要求事項があり、特に新車への再生材利用率を設けて再生プラスチックを一定以上の割合で使用することを義務付けています。また、再生材料のサプライチェーン間のトレーサビリティ要件も設定される見込みです。

SGS は、以下のサービスを通じて自動車産業に関わる各事業者が ELV 規則への対応を適切に行えるよう支援します。

- ・規制解説と規制対応に関する個別相談
- ・リサイクルプラスチックの製品含有化学物質分析（GADSL・化審法・POPs 条約など）
- ・リサイクル材のサーキュラー検証（認証）

海外調査サービス（法令・規制など）

サーキュラーエコノミー政策に基づいたサステナビリティ関連の法規制の制定が国内外で進み、グローバルに展開する企業にとって、それらの規制が自社製品に与える影響の評価や規制への対応準備に関する負担も年々増加しています。

SGS は、自社のグローバルネットワークを用いて、各国のサステナビリティ関連規制の調査を代行し、貴社製品への適用範囲や適用開始時期を踏まえた対応準備を進めるための取り組みを以下のサービスを通じて支援します。

- ・規制概要セミナー
- ・規制対応に関する個別相談



管理化学物質分析

欧州を中心としたサーキュラーエコノミー政策が進む中、PFAS 類を中心に製品に使用される化学物質に対する規制が年々拡大しています。最終製品メーカーのグリーン調達基準においても管理対象物質が拡大することで、サプライチェーンからの含有情報の収集の難易度もより高くなっています。また、規制対象物質の含有リスクが高いリサイクルプラスチックを最終製品に使用する機会も増えています。

SGS は、各国規制に対応した分析パッケージサービスや、由来用途に応じた含有リスク評価に基づいた分析項目の選択へのアドバイザーを通じて、貴社がより効果的な製品含有化学物質の調査を進められるよう支援します。

- ・化審法・POPs 条約収載物質分析
- ・RoHS・REACH（SVHC・制限物質）分析
- ・PFAS 分析
- ・その他（GADSL・米国 TSCA・プロポジション 65 など）

SGS 製品認証マーク

SGS グリーンマークは、ISO17065、ISO17029、ISO14065、ISO14021 などの国際規格に基づいた SGS の独立した認証制度です。

SGS グリーンマークは、貴社の製品（原料や素材、最終製品）の環境主張が科学的根拠に基づいた信頼できるものであることを保証し、市場での差別化を可能にします。

- ・リサイクル…ISO14021 や EN15343 に基づいて、認証済みのリサイクル材料含有率（%）を表示
- ・バイオベース…非石油由来素材である、バイオ由来の炭素含有率（%）を表示
- ・工業的堆肥化可能性…6 ヶ月以内の試験期間により、好気性生分解率が 90%以上、未証明の成分が 5%未満を表示
- ・生分解性…最長 180 日間で 60%以上の生分解性を示すことを確認し、その生分解率（%）を表示
- ・PFAS スクリーニング済み…特定の PFAS のリストに基づいて、懸念のある PFAS が非検出であることを表示
- ・有害物質評価済み…環境負荷の高い 200 を超える化学物質に関する基準を満たしていることを表示
- ・PVC フリー…SGS の PVC フリー基準に基づき、総塩素スクリーニングまたは PVC 含有分析によって、PVC の非含有を表示

食品接触材料試験

食品接触材料（Food Contact Material、略：FCM）および製品とは、食器や調理器具、その他台所用品から、食品包装材料をはじめとする、「食品と接触」する材料や製品を指します。製品材料もプラスチックや陶器、ガラスや金属から紙や木材など、その種類も多様化の傾向にあります。日本並びに海外、各々の地域においてこれら材料や製品に対し、食品容器・包装の安全基準が定められています。

SGS は、日本国内への輸入（食品衛生法）および、海外各国へ輸出される場合の適合性確認（各国規制）のため、包括的な食品接触材・製品向け試験を実施しています。



環境試験 (PFAS)

世界的な PFAS 規制の流れに合わせ、国内でも PFAS 規制が始まり、今後、対象項目が追加されることが見込まれています。SGS は、グローバルネットワークを活用し、世界の認定ラボにて飲料水・土壌・大気・生物および消火剤などに含まれる PFAS (40-60 項目) の分析を行っています。

また、US 環境保護庁と協力し分析方法の確立や検証を行い、ヨーロッパでは PFAS のスクリーニングの手法である PFASafe®を開発しました。これら研究・開発により分析精度の信頼性を確保し、企業・行政の環境調査を支援しています。

森林認証

森林破壊と森林劣化が世界的に重大な課題となる中、企業は森林由来の資材を責任ある供給元から調達することがますます求められています。SGS は、FSC®、PEFC、SGEC の 3 つの主要森林認証規格に対応し、CoC (加工・流通過程の管理) および FM (森林管理) の両認証サービスを提供しています。

国内外で業界有数の実績を誇り、幅広い業種・地域での審査経験を活かした高品質なサービスを展開。責任ある木材資源の利用とトレーサビリティの確保を支援し、企業の ESG 対応や国際市場での競争力強化に貢献します。

FSC® ライセンス番号 FSC®A 000523

SGS Japan Inc in association with SGS HK Ltd (FSC® CoC Program)

PEFC/SGEC 商標ライセンス番号 PEFC/31-44-09, SGEC/31-44-09

RSPO 認証

RSPO 認証は、パーム油の生産から流通・消費に至るサプライチェーン全体で、環境保全・人権尊重・持続可能な調達を推進する国際的な認証制度です。世界で最も使用されている植物油であるパーム油は、食品、化粧品、洗剤、バイオ燃料など幅広い製品に使用されていますが、生産に伴う森林破壊や生物多様性の喪失、労働環境への懸念も指摘されています。

RSPO 認証は、「持続可能なパーム油の原則と基準 (P&C)」および「サプライチェーン認証基準 (SCC)」の 2 つの枠組みに基づき、生産者から製造業、ブランドオーナーに至るまで、各段階の関係者が環境・社会的要件を満たすことで認証取得が可能で、調達先の透明性を高め、ステークホルダーへの説明責任を果たす手段として導入が進んでいます。

SGS は、RSPO 認証取得に向けた監査対応、サプライチェーン管理支援など、企業の責任あるパーム油調達を支援する包括的なサービスを提供します。



8-0180-16-100-00

EUDR (欧州森林破壊防止規則) への対応支援

SGS は、EUDR (欧州森林破壊防止規則) への対応を支援する包括的なサービスを提供しています。

対象となる農産物・木材製品 (牛肉、コーヒー、カカオ、パーム油、大豆、ゴム、木材) に対し、サプライチェーンのトレーサビリティ確保、デューデリジェンスのギャップ分析、確認書発行、関連認証 (FSC®/PEFC/SGEC/RSPO) などを通じて、企業の法令遵守と ESG 対応を強力にサポートします。特に FSC® の EUDR アラインド認証では、いち早く認定を取得し、先進的な対応を進めてきた実績があります。国際市場での信頼性向上とリスク低減に貢献します。

IMPACT NOW

for sustainability

ESG アシュアランス



サステナビリティ情報の検証

欧州の CSRD や日本の SSBJ 基準の導入により、企業はサステナビリティ情報の信頼性ある開示が求められています。

SGS は、各種サステナビリティデータ（取水量、排水量、大気汚染物質の排出量、人事労務に関わるデータなど）の検証、サステナビリティレポートの保証、またこれらに関連するトレーニングやアドバイザリーサービスを提供しています。

人権デューディリジェンスへの対応支援

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」は、事業活動全体における人権への影響について、企業が特定・予防・軽減し、それをすべてのステークホルダーに説明することを求めています。

SGS は、これらを実施するための人権デューディリジェンスのプロセスの確立や、中長期的な人権尊重経営の実現に向けた人権方針の策定をサポートします。

ソーシャル監査（企業の社会的責任監査）

ソーシャル監査（企業の社会的責任監査）は、企業が社会的責任を果たしているかを評価する監査を指します。

主に労働環境や人権、環境保護などに関する企業の取り組みが、法令や国際基準、社内ポリシーに沿って適切に実施されているかが評価されます。サプライーマネジメントの一環として活用でき、ブランドイメージの保護、消費者やステークホルダーからの信頼の獲得につながります。

SGS は、欧米で広く活用され、日本でも年々加盟企業が増加している SMETA 監査や、SGS が開発し、あらゆる業界に対応可能である SGS RSCA などのスキームを提供しています。

EDGE 認証

EDGE（Economic Dividends for Gender Equality）認証は、ジェンダー及び多様な属性を考慮した公平性について、組織の取り組みを評価する認証制度です。組織のあらゆる階層での公平な登用・賃金の公平性・社内制度や慣行の有効性・包括的な企業文化という 4 つの柱に基づき審査が行われます。

認証の対象とする範囲は、ビジネス単位（一企業の中のビジネスやブランド）／国単位（単一の法人又は国内グループ会社全体）／グローバル単位（多国籍企業全体）の 3 種類の組織レベルから選択可能です。

SGS は、EDGE 認証機関として承認された 3 つの認証機関のうちの 1 つです。深い専門知識とグローバルなネットワークにより、認証プロセスのスムーズな進行をサポートします。

IMPACT NOW

for sustainability
ESG アシュアランス



PPWR（包装および包装廃棄物規則）への対応支援

欧州連合（EU）は、循環型経済への移行の一環で、包装および包装廃棄物に関する新しい規則を発表しました。

新規則は 2025 年 2 月 11 日に発行、2026 年 8 月 12 日より適用となります。

SGS は、海外試験場と連携し、第 5 条に関わる試験サービスを実施しています。

また、個別企業・団体向け PPWR に関する説明会、アドバイザリーサービスも提供しています。

EU バッテリー規則への対応支援

EU バッテリー規則（Regulation（EU）No 2023/1542）は、EU 域内で販売される全てのバッテリーおよびバッテリーを搭載した製品に対し、持続可能性・安全性・循環性を確保するための包括的な規制です。原材料の責任ある調達、CO₂ 排出情報開示、リサイクル目標、デューデリジェンス義務などを企業に課しており、一部項目については Notified Body（NB）による第三者認証が要求されています。

SGS は、バッテリーおよびバッテリーを組み込んだ製品を EU 圏内に販売する事業者に対して、バッテリー規則の要求事項に関連した以下のサービスを提供しています。

- ・規制解説と規制対応に関する個別相談
- ・デューデリジェンス（DD）義務の実行体制構築に関わるアドバイザリー
- ・カーボンフットプリント（CFP）検証および算定支援
- ・製品含有化学物質分析（Cd, Pb, Hg / REACH Annex XVII 他）
- ・安全性・信頼性試験など

環境・労働安全・情報セキュリティマネジメント

気候変動、労働安全、情報開示などの社会的要請が強まるなか、企業は環境・人・情報の側面で持続可能な経営基盤を整えることが求められています。ISO14001（環境）、ISO45001（労働安全衛生）、および ISO27001（情報セキュリティ／ISMS）は、ESG 経営や CSRD、サプライチェーン・デューデリジェンスといった国際規制の実務的な土台となるマネジメントシステムです。

ISO14001 は、気候変動や資源循環への対応を体系化し、脱炭素・循環型社会への移行を支援します。

ISO45001 は、安全で健康的な労働環境の確保を通じて、人権・労働に関する国際基準への適合を促します。

さらに、ISO27001（ISMS）は、ESG 情報開示やサプライチェーン連携におけるデータ保護と透明性を担保します。

SGS は、これらの規格を統合的に導入・運用する支援を提供し、企業が「環境・社会・情報」の三領域でグローバル規制に適合しながら、信頼性と持続可能性を両立するマネジメントシステムを提供します。

When you need to be sure

SGS Japan Inc.

Yokohama Business Park,
134, Godo-cho, Hodogaya-ku,
Yokohama, Kanagawa

